部品番号	HI0001 (R/B/Y/S/G/K/T/DK DG/DS/DB/DR/DY/AB) HI0002 (R/B/Y/S/G/K/T) HI0003 (R/B/Y/S/G/K/T)

Hot InaZma

取 付 ／ 取 扱 説 明 書

ホットイナズマ

TYPE－LR、HR、MR

この度は、「 Hot InaZma 」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本製品の使用、取付け・取扱いの際には本取付・取扱説明書に従って十分に注意して作業を行なって下さい。

安全上の注意事項とお願い

○本説明書には、正しく安全に製品をご使用いただくための注意事項を示しておりますので、よくお読みになり、内容をご理解されてからお使い下さい。

○本説明書に記載されていない取付け・取扱い及び、改造・加工などを行なった場合、本製品の機能等を阻害するばかりでなく、車両等の不具合、事故につながるおそれがありますので、絶対に行なわないで下さい。

なお、記載事項を守らなかったために発生した不具合や事故につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。

○本説明書には次のマークを使用しております。

⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 アドバイス は特に重要な項目ですので、必ず記載内容を厳守して下さい。

⚠危険	この表示が付いている説明は、安全のため必ず守っていただきたい注意事項です。記載内容を守らない誤った取付け・取扱いをされた場合、死亡や重大な傷害につながります。
⚠警告	この表示が付いている説明は、安全のため必ず守っていただきたい注意事項です。記載内容を守らない誤った取付け・取扱いをされた場合、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	この表示が付いている説明は、安全のため必ず守っていただきたい注意事項です。記載内容を守らない誤った取付け・取扱いをされた場合、傷害や事故及び、製品故障につながるおそれがあります。
アドバイス	この表示が付いている説明は、本製品の故障や破損を防ぐために守っていただきたいことを記載しております。

○本製品の取付け・取扱い、及び使用方法について、ご不明な点等ございましたら、本製品購入先の販売店、もしくは弊社までお問い合わせいただき、ご理解された上でお使い下さい。

○車両により効果が異なります。

販売店様へ

本説明書は、必ずお客様にお渡し下さいますようお願いします

I－10004$1TA 6 0

取付け・取扱いの前に本説明書を必ずお読み下さい

取 付 ／ 取 扱 説 明 書

本製品を正しくお使いいただくために、次の ⚠警告 ⚠注意 事項をお読みになり必ず記載事項を厳守して下さい。なお、記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承下さい。

⚠警告

- ●本製品の改造や本説明書に記載されていない取付け・取扱いは絶対に行なわないで下さい。
- ●本製品を取付けの際は、作業を安全に行なうために、水平かつ平らな場所で行なって下さい。
- ●作業中に車両が動き出すと思わぬ事故につながりますので、車両のサイドブレーキを確実に引いて、エンジンキーを抜いてから作業を行なって下さい。
- ●本製品を取付けの際は、ガソリンの漏れがないか確認し、換気の良い場所で作業を行なって下さい。爆発及び火災の原因となります。
- ●車両事故等により、本製品が変形及び故障した場合には直ちに使用を中止し、速やかに交換して下さい。
- ●取付作業を行なう前に輸送時の損傷等がないか確認して下さい。また、本製品に損傷がある場合や本製品を落下させた場合は、直ちに作業を中止して下さい。
- ●作業中にお子様やペットが近づかないようにして下さい。お子様やペットの思わぬ動きが重大事故につながるおそれがあります。
- ●取付作業は道路や、不特定の人が出入りする場所では行なわないで下さい。事故の原因となります。
- ●バッテリの（＋）端子と（－）端子に、金属が同時に触れないよう十分ご注意下さい。ショートを起こすと爆発や車両火災の原因となります。
- ●バッテリ端子を脱着する際は、必ず（－）端子から取外して、（＋）端子から取付けるようにし、ショートさせないよう十分ご注意下さい。
- ●バッテリケーブルを取外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両整備書をご参照下さい。
- ●本製品を取付けの際は、燃料ホース、燃料パイプ等燃料系への干渉に十分ご注意下さい。干渉により本製品の被覆がはがれリークし、爆発や火災の原因となります。
- ●本製品を取付けの際は、ブレーキホース、ブレーキパイプ等ブレーキ系への干渉に十分ご注意下さい。干渉によりブレーキフルードが漏れると、ブレーキが利かなくなり車両事故の原因となります。
- ●本製品を装着後は、エンジンに異常がないことを確認した上で、走行試験を行なって下さい。確認を怠ると事故の原因となります。
- ●配線は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定させ、緩みのないようにして下さい。

⚠注意

- ●作業の安全を確保するため、エンジンキーは必ずＯＦＦにし、サイドブレーキを確実に引いて下さい。
- ●本製品の分解及び違う目的での使用は絶対にお止め下さい。
- ●本製品の装着・点検作業を行なう際は必ずバッテリの（－）端子を取外した状態で行なって下さい。
- ●エンジンなどの高温部に触れるとヤケドをするおそれがあります。各部が十分冷えて熱くないことを確認してから装着・点検作業を行なって下さい。
- ●本製品に故意に水をかけないで下さい。システム故障の原因となります。
- ●ワイヤー類を強く引っ張らないで下さい。端子の抜けや断線の原因となります。
- ●本製品を取付けの際は、部品に強い衝撃を与えないで下さい。装着不良や故障の原因となります。
- ●本製品を取付けの際は、切りキズなどのケガ防止のため、保護具（軍手、作業着、作業帽、保護メガネ等）を着用して作業を行なって下さい。
- ●バッテリ端子を脱着する際は、必ずエンジンスイッチ、ライトスイッチ及びその他電装品のスイッチをＯＦＦにして下さい。故障の原因となります。
- ●バッテリ端子を脱着する際は、（＋）端子と（－）端子を絶対に間違わないよう十分ご注意下さい。車両故障の原因となります。
- ●ブレーキ配管及びエアコン配管等の高圧配管には、本製品を固定しないで下さい。車両故障の原因となります。
- ●本製品は、エキゾーストマニホールド等の高温になる場所やファンベルト、電動ファンの周辺には取付けないで下さい。
- ●本製品は、可動部等に噛み込まれないよう取付けして下さい。

⚠注意

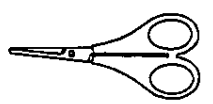
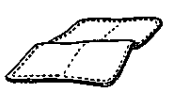
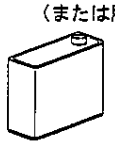
- ●作業工程のなかでエンジンを始動させる際は、エンジンルーム内に工具や部品等が残っていないことを確認し、ギヤをニュートラルもしくはPレンジに入れ、安全を確認した上で行なって下さい。誤発進など、事故の原因となります。
- ●本製品をグロメットや穴に通す場合は、必ず防水シーリングを行なって下さい。雨漏りの原因となり、電子機器などの故障につながります。
- ●本製品（配線）がエッジ部に当たる際は、クッションテープ等で本製品を保護して下さい。
- ●工具はボルトやネジにあったサイズのものを使用して下さい。ボルトやネジの破損及び締付け不足の原因となります。
- ●取付け時に外したボルト・ナットは、車両整備解説書に記載された締付けトルクで確実に締め付けを行なって下さい。規定値外の締め付けは、エンジン故障の原因となります。
- ●両面テープの貼り付け面の汚れ、ほこり、油分等をきれいなウエス等で拭き取って下さい。
  尚、シンナー、ベンジン、ガソリン等の有機溶剤は絶対に使用しないで下さい。ホワイトガソリン又は脱脂剤の使用をおすすめします。
- ●汚れた手、軍手等で両面テープ面に触れると接着力が低下し、部品脱落の原因となります。
- ●本製品の取付け後、ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認して下さい。

アドバイス

本製品取付けの際、車両電装部品のバックアップを行って下さい。ナビゲーションシステム等の設定がリセットされてしまう可能性があります。また、作業終了後バックアップデータにて復元して下さい。

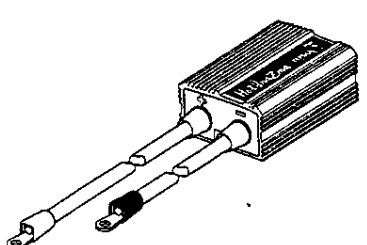
使　用　工　具　等

下記に記載された使用工具等は、代表的なものです。必要に応じて、他の工具等もご用意下さい。

ソケットレンチ ※ボルト・ナットに合ったサイズをご用意下さい。	コンビネーションレンチ ※ボルト・ナットに合ったサイズをご用意下さい。	トルクレンチ 	ハサミ 
ウエス 	ホワイトガソリン （または脱脂剤） 	ビニールテープ 	作業用手袋

構　成　部　品

作業に入る前に、部品が全て揃っていること、部品にキズ・破損がないことを確認してから作業を始めて下さい。
万一、不良品や部品の不足等がありましたら、お買い求めの販売店、もしくは弊社までご連絡下さい。
また、取付けによるミスやトラブルを避けるため、専門知識のある整備工場などで取付けを行なって下さい。

①ホットイナズマ：1  ※イラストは、実際の商品とは形状が若干異なることがありますが、ご了承下さい。	②両面テープ：1 	③タイラップ (L=200)：2
	④タイラップ (L=291)：2 	⑤取付・取扱説明書：1

各部名称・取付・接続概要

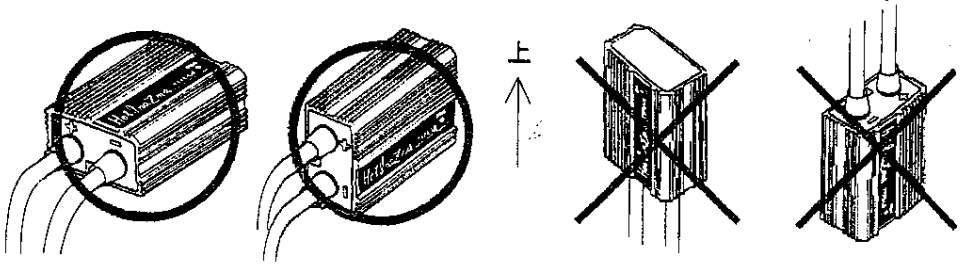
⚠注意

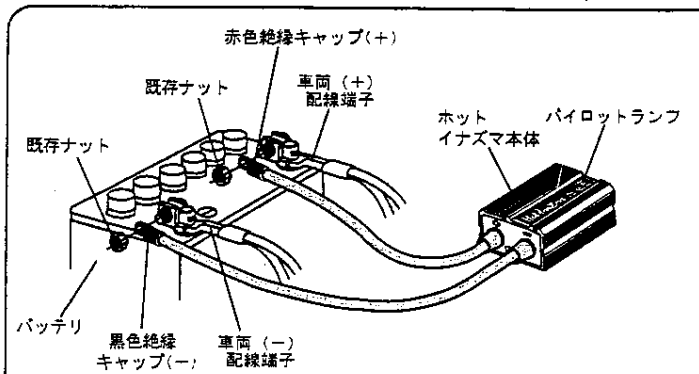
ホットイナズマ本体の配線（＋）（－）を逆にすると、本製品は故障します。よく確認して取付けて下さい。

※必ずパイロットランプが点灯(赤⇔緑が交互に点灯)することを確認して下さい。

ホットイナズマは水平に取付けて下さい。また、配線は下方向に取り回して下さい。

又、タイラップのみでの取付けは、絶対に行なわないで下さい。脱落の原因となります。

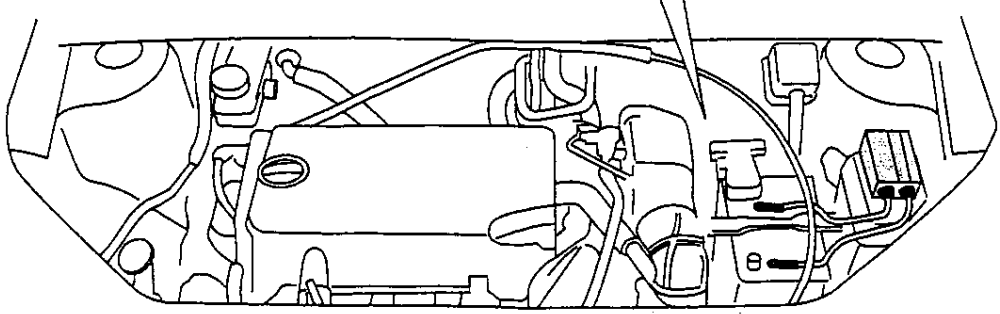




⚠警告

●バッテリのマイナス端子に発電電圧可変制御システムが搭載されている車両には、Ｐ８を参照しHot Inazmaの（－）端子を取付けて下さい。

●システム搭載の有無について分からないお客様は、メーカー及びディーラーへ問い合わせ下さい。



※発電電圧可変制御システム・・・バッテリ充電量の変化を監視して、オルタネーターの発電量の制御を行う装置。

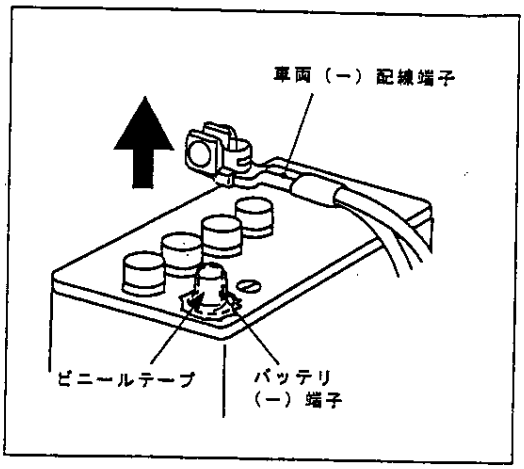
※図は装着例ですので、装着する車両に合うように取付けを行なって下さい。

※弊社ホットアース（パラレルターミナル付）を装着されている場合は、本製品の黒色絶縁キャップ側（－）をパラレルターミナルに取付けて下さい。

取　付　手　順

1．取付準備

下記作業は車両整備書に従って行なって下さい。



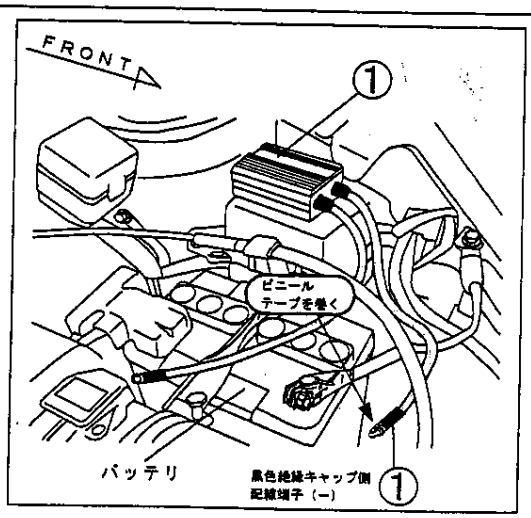
アドバイス　車両（－）配線取外し前に、車両電装部品のバックアップを行って下さい。ナビゲーションシステム等の設定がリセットされてしまう可能性があります。

1）バッテリ（－）端子から車両（－）配線の端子を取外して下さい。

2）バッテリの（－）端子にビニールテープを巻いて絶縁して下さい。

⚠注意
- ●エンジン等の高温部に触れるとヤケドをするおそれがあります。各部が熱くないことを確認して作業を行なって下さい。
- ●バッテリ端子を脱着する際は、エンジンスイッチ、ライトスイッチ及びその他電装品のスイッチをＯＦＦにして下さい。
- ●バッテリの（＋）端子と（－）端子に金属が同時に触れると、ショートを起こしますので十分ご注意下さい。

2．ホットイナズマの取付

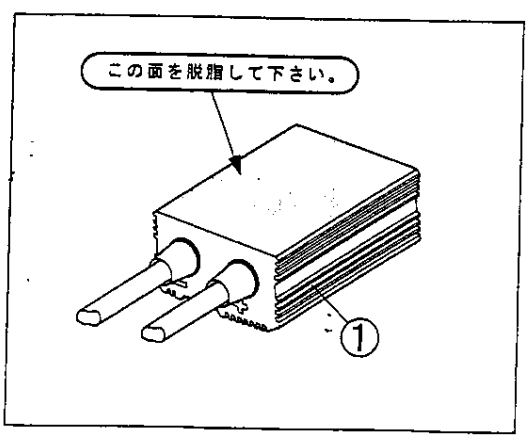


1）①ホットイナズマ配線先端の黒色絶縁キャップ側端子（－）にビニールテープ等を巻いて絶縁して下さい。

⚠注意　一度ホットイナズマをバッテリに接続すると、ホットイナズマ内に電気が蓄電されます。その後、バッテリから取外した際、ホットイナズマの配線端子が金属部等に接触すると蓄電された電気によりショートするため十分に注意して下さい。

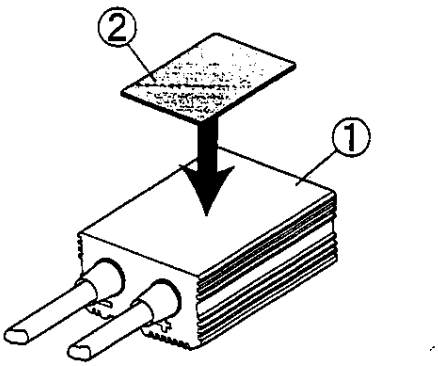
2）①ホットイナズマの端子をバッテリへ仮置きし、①ホットイナズマ本体を取付けるのに適当な場所を選んで下さい。

⚠注意　①ホットイナズマの取付位置は水平な場所を選んで下さい。また、できるだけ平面部にて両面テープ、タイラップで固定でき、①ホットイナズマの配線は下方向に取り回せる位置を選んで下さい。



3）①ホットイナズマ本体の裏面（平面側）の汚れを拭き取り、脱脂して下さい。

アドバイス　ホワイトガソリンまたは、脱脂剤で拭き取って下さい。尚、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は絶対に使用しないで下さい。

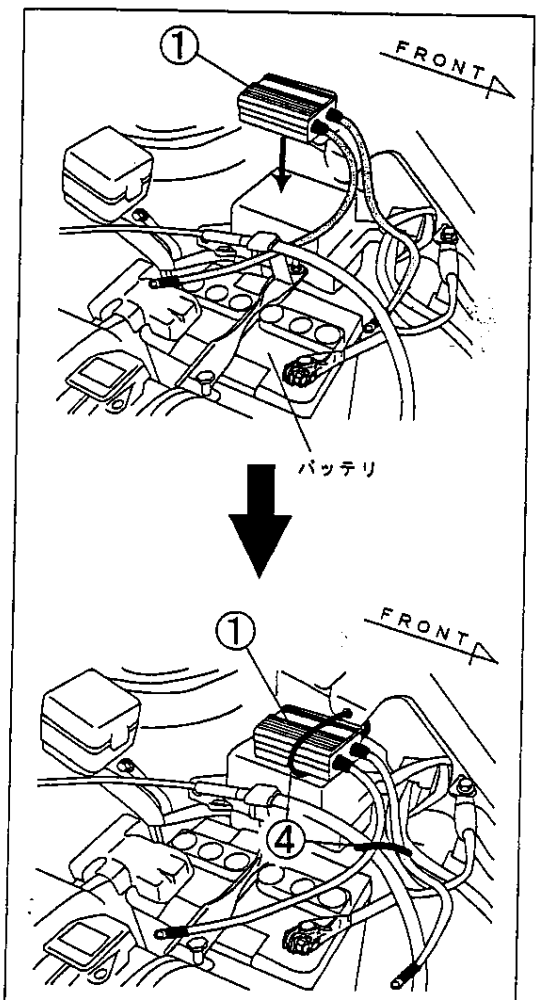


図は取付けの例ですので、取付け位置に合わせて貼り付けて下さい。

4）3）にて脱脂した位置に ②両面テープを貼り付けて下さい。

⚠注意
- ●両面テープは、15℃以下になると接着力が著しく低下します。作業場を暖めるか貼り付け面を暖めて下さい。ハガレの原因になります。
- ●汚れた手、軍手などで両面テープの接着面及び車体側を触ったり、接着をやり直したりすると両面テープの接着力が著しく低下しますのでご注意下さい。
- ●両面テープは確実に圧着して下さい。圧着が不足しますと、ハガレ等の原因になります。

アドバイス ②両面テープは取付位置に合わせて適当な大きさに切断し、貼り付けて下さい。



図は取付けの例ですので、取付け位置に合わせて貼り付けて下さい。

5）1）にて選んだ取付位置の汚れを拭き取り、脱脂して下さい。脱脂後、①ホットイナズマ本体を ②両面テープ裏面の離ケイ紙をはがし、車両へ取付けて下さい。このとき、①ホットイナズマの配線の向きに注意して下さい。

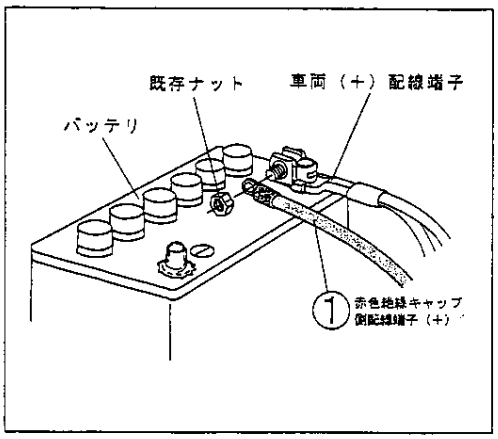
⚠注意
- ●①ホットイナズマの配線は水平もしくは下向きになるように取付けて下さい。
- ●両面テープは、15℃以下になると接着力が著しく低下します。作業場を暖めるか貼り付け面を暖めて下さい。ハガレの原因になります。
- ●汚れた手、軍手などで両面テープの接着面及び車体側を触ったり、接着をやり直したりすると両面テープの接着力が著しく低下しますのでご注意下さい。
- ●両面テープは確実に圧着して下さい。圧着が不足しますと、ハガレ等の原因になります。

アドバイス ホワイトガソリンまたは、脱脂剤で拭き取って下さい。尚、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は絶対に使用しないで下さい。

6）車両へ貼り付けた ①ホットイナズマ本体を ④タイラップにて確実に固定して下さい。

⚠注意 両面テープのみの取付けは絶対にお止め下さい。走行中に脱落し、車両故障の原因となります。

3．ホットイナズマの接続

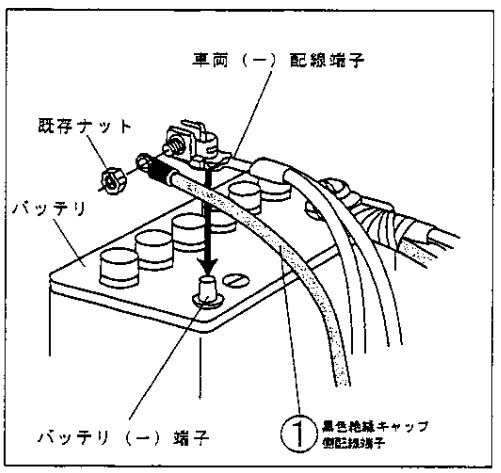


1）バッテリ（＋）端子のカバーを外し、①ホットイナズマの赤色絶縁キャップ側端子（＋）を車両（＋）配線端子へ取付けて下さい。

> ⚠注意 ホットイナズマの配線（＋）（－）を逆に接続すると、本製品は故障します。よく確認して取付けて下さい。

2）①ホットイナズマの端子（＋）と車両（＋）配線端子を既存の端子カバーもしくはビニールテープ等で絶縁して下さい。

> ⚠注意 絶縁を怠るとショートや感電の原因となります。



3）①ホットイナズマの黒色絶縁キャップ側端子（－）のビニールテープをはがし、車両（－）配線端子へ取付けて下さい。

4）①ホットイナズマの端子（－）を取付けた車両（－）配線端子をバッテリ（－）端子のビニールテープをはがし、接続して下さい。このとき、パイロットランプが点灯（赤⇔緑交互に点灯）することを確認して下さい。

> ⚠注意
> ●ホットイナズマの配線（＋）（－）を逆に接続すると、本製品は故障します。よく確認して取付けて下さい。
> ●パイロットランプが点灯しない場合は、接続が逆の可能性があります。配線を確認し、正しく接続して下さい。

5）①ホットイナズマの配線を ③タイラップにてエンジンや他の部品と干渉しないように既存配線等へ固定して下さい。

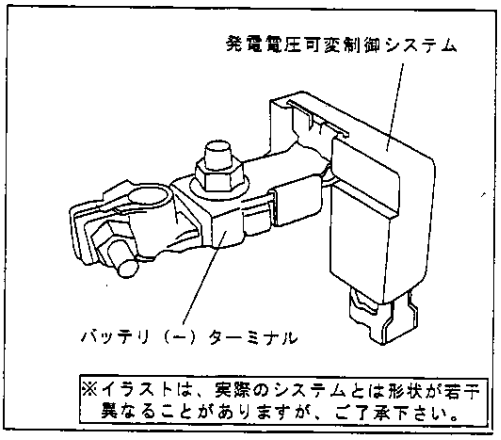
> ⚠警告 振動等で傷つきやすいところにホットイナズマの配線が触れていると、被覆がはがれてショートを起こすなどの原因となります。特に燃料系への干渉は爆発や車両火災に至るおそれがあります。十分注意して作業を行なって下さい。

> ⚠注意 本製品（配線）がエッジ部に当たる際は、クッションテープ等で本製品を保護して下さい。

●発電電圧可変制御システム搭載車へのホットイナズマ（－）端子接続方法

アドバイス ●システム搭載の有無について分からないお客様は、メーカー及びディーラーへ問い合わせ下さい。

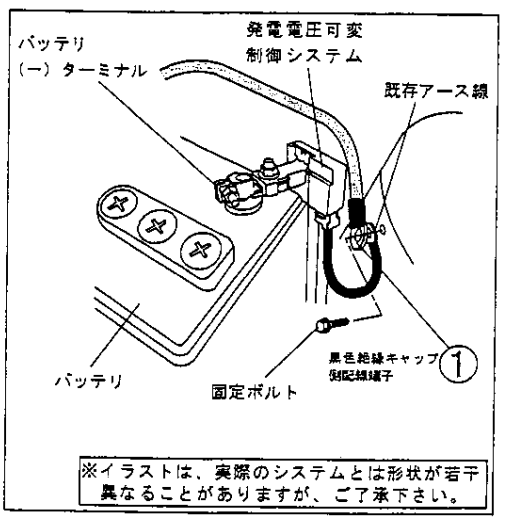
※発電電圧可変制御システム・・・バッテリ充電量の変化を監視して、オルタネーターの発電量の制御を行う装置。



※イラストは、実際のシステムとは形状が若干異なることがありますが、ご了承下さい。

1）発電電圧可変制御システム搭載車は、以下の手順に従って①ホットイナズマの端子（－）を接続して下さい。

⚠警告 発電電圧可変制御システム付のバッテリ（－）ターミナルへ接続をした場合、バッテリ上り等の不具合が生じる可能性があります。



※イラストは、実際のシステムとは形状が若干異なることがありますが、ご了承下さい。

2）①ホットイナズマの黒色絶縁キャップ側端子（－）のビニールテープをはがして下さい。

3）発電電圧可変制御システム直後の既存アース線固定ボルトを取外し、①ホットイナズマの端子（－）を取外した固定ボルトにて既存アース線と共締めにして下さい。
このとき、パイロットランプが点灯（赤⇔緑交互に点灯）することを確認して下さい。

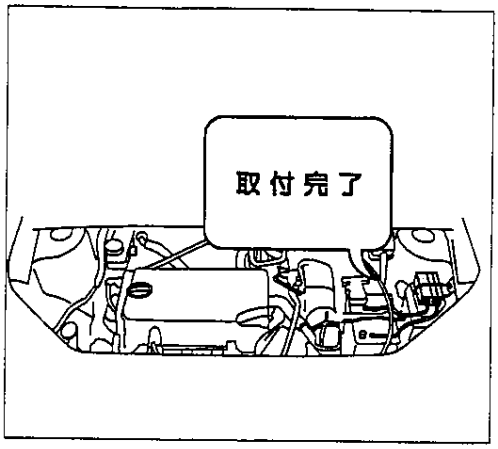
⚠注意
- ●ホットイナズマの配線（＋）（－）を逆に接続すると、本製品は故障します。よく確認して取付けて下さい。
- ●パイロットランプが点灯しない場合は、接続が逆の可能性があります。配線を確認し、正しく接続して下さい。

4）①ホットイナズマの配線を③タイラップにてエンジンや他の部品と干渉しないように既存配線等へ固定して下さい。

⚠警告 振動等で傷つきやすいところにホットイナズマの配線が触れていると、被覆がはがれてショートを起こすなどの原因となります。特に燃料系への干渉は爆発や車両火災に至るおそれがあります。十分注意して作業を行なって下さい。

⚠注意 本製品（配線）がエッジ部に当たる際は、クッションテープ等で本製品を保護して下さい。

4．取付後の確認



1）①ホットイナズマの取付状態に問題がないことを確認して下さい。
2）エンジンを始動し、走行テストを行なって、不具合がないことを確認して下さい。

⚠警告 締切った室内でエンジンをかけると排気ガスで酸素欠乏症となり、死亡事故につながるおそれがあります。換気の良い屋外で始動確認をして下さい。

注意 本製品装着後、車両コンピューターのリセットをして下さい。
車両故障や不具合の原因となる場合があります。

アドバイス 車両電装部品の設定を、バックアップを使用し復元して下さい。

SUN AUTOMOBILE Co.,Ltd.
株式会社サン自動車工業
〒157-0077 東京都世田谷区鎌田3-18-1
「インフォメーションセンター」
製品に関するお問い合わせは
03-3708-3333
（受付 祝祭日を除く月～土曜）
SUN最新情報！HPアドレス http://www.sun-auto.co.jp/

I－10004S1TA 4 8 11